

2023年度

ニチイキッズ仙北町駅保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。

また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～2024年1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月5日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念・保育方針を職員全員がミーティング等で確認し、これまで以上に「児童の最善の利益」を意識しながら保育を行なうことができた。一人一人の子どもにしっかりと目を向け、発達を促す関わりについて職員の連携を大切にしながら子どもたちがおもいきり楽しく活動に参加できるよう、取り組んできた。
子どもの発達援助	子ども主体の保育を心掛け、個々の発達について十分に把握できるよう、常に話し合える環境を整えながら保育を行ってきた。また、園内研修等で事例をもとに各々の学びを深め、さらには情報共有をこまめに行うことにより園内で統一した対応をすることができるようになった。結果として今まで以上に子どもに寄り添った保育が出来るようになった。
保護者に対する支援	連絡帳を活用して子どもの様子の伝達に加え、送迎時には、保護者に口頭でその日の子どもの様子を分かりやすく伝え、各クラスのホワイトボードや廊下、玄関等に写真を掲示するなど、園内の様子が伝わるような工夫をした。保護者との信頼関係の強化に努め取り組むことが出来た。
保育を支える組織的基盤	積極的に研修に参加し保育の質の向上を目指し取り組むことが出来た。また、職員会議や MTG 等で、個々の課題を積極的に話し合える環境を作ることで学びを全体に共有し、園全体での保育の質の向上に努めてきた。こまめな情報共有を行い、園全体のスキルアップに繋げることが出来たので、次年度も継続していきたい。

総評
今、園に求められている保育とは何かを常に模索し、全職員が一丸となり保育に携わることが出来た。職員間の連携をさらに強化したことで、子ども一人一人の発達にしっかりと目を向け、丁寧な保育環境づくりへと繋げることができた。食育活動では、栽培を通して生長を観察し、さらには野菜に触れることで食べることへの意識や食に対する興味関心を強く持つことが出来た。次年度に向けては、これまでの取り組んできた「おもいきり遊ぶ おもいきり学ぶ」の保育理念を念頭に置き、さらなる保育の質の向上へと繋げていきたい。また課題としては、防犯対策・衛生管理の面において外部の各機関との連携を強化し、より安心・安全な環境づくりが出来るよう子どもたちと共に楽しみながら学んでいきたいと考える。